

<No10 : 水準測量>

次の文は、公共測量における水準測量を実施するときに遵守すべき事項について述べたものである。明らかに間違っているものはどれか。次の中から選べ。

1. 1日の観測は、水準点で終わることを原則とする。なお、やむを得ず固定点で終わる場合は、観測の再開時に固定点の異常の有無を点検できるような方法で行うものとする。
2. 1級水準測量では、観測は1視準1読定とし、後視→前視→前視→後視の順に標尺を読定する。
3. 1級水準測量及び2級水準測量の再測は、同方向の観測値を採用しないものとする。
4. 往復観測を行う水準測量において、水準点間の測点数が多い場合は、適宜、固定点を設け、路及び復路の観測に共通して使用する。
5. 2級水準測量では、1級標尺又は2級標尺を使用する。